

聞き取り調査で2社が談合を肯定、他社は否定 日本共産党議員団、談合疑惑の全容解明にむけ徹底調査を要求



1月24日、ガス水道局発注の本支管工事における談合疑惑調査の中間報告が明らかにになりました。これはガス水道局の談合情報等調査委員会（宮越浩司委員長・ガス水道局長）が行ったものです。

この日、宮越委員長は市議会建設企業常任委員協議会の場において、この間、関係業者や関係職員から聞き取り調査したものをまとめ、報告しました。

報告によると、平成18年4月から平成23年6月の間の談合を肯定したのは2社のみで他社は否定したといえます。また、職員等の聞き取り調査で、「予定価格や最低制限価格または設計額の全部または一部を業者など部外の第三者に漏えいした者は認められなかった」というこ

| 調査項目 | 結果 | | |
|-------------------------------------|---------------|---------------|------------|
| | 肯定 (推測を含む) | 否定 (推測を含む) | わからない・知らない |
| ①平成18年4月から平成23年6月の談合の有無 | 2社5名 | 15社21名 | 17社29名 |
| ②Aランク14社の談合への関与 | 2社5名 | 13社18名 | 17社32名 |
| ③談合の調整役の存在 | 2社5名 | 7社8名 | 21社42名 |
| ④予定価格事前公表時に予定価格の95%未満を落札者とする業者間のルール | 2社5名 | 13社17名 | 19社33名 |
| ⑤入札に関する本支管業者間の電話連絡 | 2社4名 | 19社26名 | 18社25名 |
| ⑥年間受注予定金額の策定 | 2社3名 | 10社12名 | 21社40名 |
| ⑦現在の談合の有無 | 2社5名 | 18社29名 | 14社21名 |

るのは問題だとし、解明に向けて、さらに突っ込んだ調査を求めました。宮越委員長は、「必要があれば再度聞き取りなどは排除するものではない」とのべました。今後の調査に注目したいと思います。

新たな録音データも入手

12月に日本共産党議員団が入手した録音データのなかに、まだ録音データが存在することを示唆した部分があります。ガス水道局の談合情報等調査委員会がこのデータを手付けずに調査を終えようとしているので、日本共産党議員団

とです。いわゆる官製談合を認められた者はいなかったという事になったりします。今後、調査委員会はこの調査結果を分析、評価した上で最終報告書をまとめるものとされていますが、私からは、談合を認めた業者と否定した業者に分かれた中で、このまま疑惑が解明されないで終わるのではないかと懸念しています。

2月11日、「市民とともに談合疑惑解明求める集い」開催へ

日本共産党議員団では、2月11日、午後1時半から市民プラザ第2会議室で、「市民とともに談合疑惑解明を求める集い」を開催します。ここでは、今回の談合疑惑について私が報告するとともに、上越市の元入札監視委員会委員の鷲澤和彦さんからも上越市の入札の現状と問題点について話していただきます。



【スズカケノキ】市内では数少ない木。鈴のような実が木からぶら下がっているのを見て、何だろうと思いました。木は大きく、近くに落ちていた葉はカエデのような形でした。柿崎区米山寺にて28日撮影。

藤野やすふみさん迎え「新春の集い」開催へ

日時：2月9日（日）午後2時から
場所：頸城区希望館
内容：第1部は藤野やすふみ衆院北陸信越ブロック比例代表の国政報告。橋爪、上野市議の議会報告ほか。第2部は懇親会です。
会費：第1部は無料、第2部は1000円です。
参加希望の方は携帯電話（090-5392-1961）に連絡を。



春よ来い 第二九〇回 穏やかな日に

「きょうはありがたいとございました。おばあちゃんがお世話になっていたサンクス米山もすぐそばだし、穏やかな海も見えます。ここなら、おばあちゃんが喜んでくれると思います」

シズオさんの心の中には介護老人保健施設で伯母を最後に見送っていただいた大勢の職員さんたちの姿が強く印象に残っていたのでしよう、壇ばらいの儀式を無事終えた後のお斎の席の挨拶で、シズオさんはなぜこの会場を選んだのかを語りました。

会場となったホテルは老人介護施設から二〇〇ほど離れていたところにあります。シズオさんが挨拶の中で伯母が入っていた施設と海のことについてふれたので、挨拶が終わるとすぐに何人かが窓際のところへ行きました。もちろん私も……。

この日の海はシズオさんの言うとおりの穏やかでした。寄せては引く波、波の大きさが違います。波と波の間隔も違います。ずっと見ている姿が飽きることがありません。私たちがいた部屋の窓からは五人ほど魚釣りを楽しんでいる姿が見えました。散歩でしようか、小さな娘さんとその母親らしい人が仲良く歩いている様子も目に入りました。目を遠くに向けてみると、火力発電所の煙突もガスタンクもはつきりと見えます。

山登りの好きなリョウゾウさんは、「おばあちゃんがいる感じがする」と言いながら、とよかつたね。でも、ほんとうにおばあちゃんがいる感じがする」と言いながら、「電柱の左側のずつと奥に白馬の姿が見えるよね、その手前が駒ヶ岳さ」と施設のはるか向こうに見える山々について説明してくれました。

席に戻ってからは、刺身、煮魚、のっぺ、吸い物、茶碗蒸し、海老の天ぷらなど次々と出てくる美味しい料理をせっせと食べました。じつは、私も隣の席におられたお寺の副住職さんも、料理の持ち帰りはできないものだと思っていて、それならばなるべく残さず食べようと話し合っていたのです。私の大好きなのっぺはよその料理屋さんよりも多くよそつてありましたが、それともたいらげました。

シズオさんのお酒を注ぎに回っているとき、伯母の亡くなった時期のことが話題になりました。「正直言っちゃ、暮れと正月だけは外してもらいたいと思ってたんだわ。ノリカズさんが遠くへ行くまではもたないと思っていた。そのとおりになったもんね」というシズオさんの言葉を聞き、年末に伯母が一時、呼吸停止状態になった後、家族がいまかいまかと気をもんだ様子が伝わってきました。

酒がすすんで全体が賑やかになってきたなと思ったのは、鳥越のイサムちゃん元気な声が聞こえてきてからです。「すいません。あれですわ。同級生のみんなと店に入った時、下町の伯母さんがお茶、飲んでけと言ってくんだったんだわ。おれ、飲んでいらんねと言ったがさね。それでも……」イサムちゃんは伯母が小さな店をやっていた当時のことをいつもの調子で語り、思い出させてくれました。

伯母が生まれ育った当時、蛍場にあったわが家のことやいまも蛍場にあるわが家の墓のことも話題になりました。何人かの人に場所を問われ、村屋の稲田商会の看板があるところから入ると、四戸ほどの集落があることを伝えました。わが家の墓は、集落を通る市道が急な坂道になる一歩手前から五〇ほど入ったところにあります。

こうしてお斎の時間はあつという間に過ぎて行きました。そうそう、伯母が亡くなったことをわが家の墓に入っている祖父や父にも伝えなければなりません。雪が解け、春になったら、早めにわが家の墓へ行ってこようと思います。

こうしてお斎の時間はあつという間に過ぎて行きました。そうそう、伯母が亡くなったことをわが家の墓に入っている祖父や父にも伝えなければなりません。雪が解け、春になったら、早めにわが家の墓へ行ってこようと思います。

吉川区初の新年を祝う会

吉川区の新年を祝う会が25日、多目的集会場で行われ、90人を超える人たちが集まりました。じつは合併後、区民全体に呼びかけた新年を祝う会は今回が初めてでした。まちづくり吉川や商工会などのみなさんが世話人会をつくり準備してください

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

| | 1月22日(水) | 1月29日(水) |
|--------|----------|----------|
| 上越南消防署 | 0.036 | 0.030 |
| 上越北消防署 | 0.050 | 0.053 |
| 新井消防署 | 0.056 | 0.050 |
| 頸北消防署 | 0.050 | 0.060 |
| 頸南消防署 | 0.050 | 0.047 |
| 東頸消防署 | 0.047 | 0.050 |
| 高士分遣所 | 0.053 | 0.043 |
| 名立分遣所 | 0.043 | 0.047 |

ました。心から感謝申し上げます。

会のオープニングは太鼓グループ、鼓舞衆です。何人かの新人が加わり、力強い演奏でした。小山正昭さんが世話人会を代表して挨拶、その後、武藤総合事務所長（市長代理）と私も挨拶させていただきました。私からは、昨年、全市から注目された商工会のまちゼミの取組や川谷地区での中山間地対策にふれながら新年の抱負や思いを語らせてもらいました。

懇親の時間帯では区内のいろいろなところで頑張っている人たちが酒を注ぎ合い、交流しました。異動によって顔ぶれがかわっているので、区内の金融機関である農協や郵便局の人たちのなかには初対面の人もありました。有意義なひと時だったと思います。

会を盛り上げてくださったのは詩吟、踊りなどのグループみなさんです。写真は獅子



舞とヨッシャーマンです。獅子の頭は下町の五十嵐夷廣さんの手作りとか、見事な作品でした。そして、獅子舞をやってくださったのは何と、鼓舞衆の松原さんだったのです。大活躍でした。



ばあちゃんのコンニャクは今年も美味しい。

「きょうはありがたいとございました。おばあちゃんがお世話になっていたサンクス米山もすぐそばだし、穏やかな海も見えます。ここなら、おばあちゃんが喜んでくれると思います」

シズオさんの心の中には介護老人保健施設で伯母を最後に見送っていたいただいた大勢の職員さんたちの姿が強く印象に残っていたのでしよう、壇ばらいの儀式を無事終えた後のお斎の席の挨拶で、シズオさんはなぜこの会場を選んだのかを語りました。

会場となったホテルは老人介護施設から二〇〇ほど離れていたところにあります。シズオさんが挨拶の中で伯母が入っていた施設と海のことについてふれたので、挨拶が終わるとすぐに何人かが窓際のところへ行きました。もちろん私も……。

この日の海はシズオさんの言うとおりの穏やかでした。寄せては引く波、波の大きさが違います。波と波の間隔も違います。ずっと見ていると飽きることがありません。私たちがいた部屋の窓からは五人ほど魚釣りを楽しんでいる姿が見えました。散歩でしようか、小さな娘さんとその母親らしい人が仲良く歩いている様子も目に入りまし

た。目を遠くに向けてみると、火力発電所の煙突もガスタンクもはつきりと見えます。山登りの好きなリョウゾウさんは、「おばあちゃんがいる感じがする」と言いながら、とよかつたね。でも、ほんとうにおばあちゃんがいる感じがする」と言いながら、

「電柱の左側のずつと奥に白馬の姿が見えるよね、その手前が駒ヶ岳さ」と施設のはるか向こうに見える山々について説明してくれました。

席に戻ってからは、刺身、煮魚、のっぺ、吸い物、茶碗蒸し、海老の天ぷらなど次々と出てくる美味しい料理をせっせと食べました。じつは、私も隣の席におられたお寺の副住職さんも、料理の持ち帰りはできないものだと思っていて、それならばなるべく残さず食べようと話し合っていたのです。私の大好きなのっぺはよその料理屋さんよりも多くよそつてありましたが、それともたいらげました。

シズオさんのお酒を注ぎに回っているとき、伯母の亡くなった時期のことが話題になりました。「正直言ってさ、暮れと正月だけは外してもらいたいと思ってたんだわ。ノリカズさんが遠くへ行くまではもたないと思っていた。そのとおりになったもんね」というシズオさんの言葉を聞き、年末に伯母が一時、呼吸停止状態になった後、家族がいまかいまかと気をもんだ様子が伝わってきました。

酒がすすんで全体が賑やかになってきたなと思ったのは、鳥越のイサムちゃん元気な声が聞こえてきてからです。「すいません。あれですわ。同級生のみんなと店に入った時、下町の伯母さんがお茶、飲んでけと言ってくんだったんだわ。おれ、飲んでいらんねと言ったがさね。それでも……」イサムちゃんは伯母が小さな店をやっていた当時のことをいつもの調子で語り、思い出させてくれました。

伯母が生まれ育った当時、蛍場にあったわが家のことやいまも蛍場にあるわが家のお墓のことも話題になりました。何人かの人に場所を問われ、村屋の稲田商会の看板があるところから入ると、四戸ほどの集落があることを伝えました。わが家の墓は、集落を通る市道が急な坂道になる一歩手前から五〇ほど入ったところにあります。

こうしてお斎の時間はあつという間に過ぎて行きました。そうそう、伯母が亡くなったことをわが家の墓に入っている祖父や父にも伝えなければなりません。雪が解

け、春になったら、早めにわが家の墓へ行つてこようと思ひます。

け、春になったら、早めにわが家の墓へ行つてこようと思ひます。

吉川区初の新年を祝う会

吉川区の新年を祝う会が25日、多目的集会場で行われ、90人を超える人たちが集まりました。

区民全体の呼び掛けた新年を祝う会は今回が初めて。小山正昭さんが世話人会を代表して挨拶、その後、武藤総合事務所長（市長代理）と私

も挨拶しました。私からは、昨年、全市から注目された商工会のまちゼミの取組や川谷地区での中山間地対策にふれながら新年の抱負や思いを語らせてもらいました。

会を盛り上げてくださったのは詩吟、踊りなどのグループみなさんです。写真は獅子舞とヨッ

シャーマンです。獅子の頭は下町の五十嵐夷廣さんの手作りとか、見事な作品でした。そして、獅子舞をやってくださったのは何と、太鼓グループ鼓舞衆の松原さんだったのです。大活躍でした。

新水族博物館基本計画案にコメント78件

上越市の新水族博物館基本計画（変更案）にたいするパブリックコメント結果が1月23日の総務常任委員会で報告され、質疑が行われました。

市に寄せられたコメントは12人、1団体から78件。このうち最も多かったのは、地元



河川の再現・生物展示等展示内容に関するもので15件、ついで付帯設備に関して11件だったといいます。寄せられたコメントのうち、計画に反映したものは5件、一部反映したものは1件。反映しなかったものは24件、他はすでに計画に記載済み、計画外のコメントとの報告でした。コメントを寄せてくださった市民、団体への回答はまだ出してなく、速やかに出していくそうです。

質疑で私からは、パブリックコメント結果を受けて、改めて新水族博物館建設についての市の認識をただしました。市側は、「市民の期待は大きい、よりよいものを造っていき」と答えました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

| | 1月22日(水) | 1月29日(水) |
|--------|----------|----------|
| 上越南消防署 | 0.036 | 0.030 |
| 上越北消防署 | 0.050 | 0.053 |
| 新井消防署 | 0.056 | 0.050 |
| 頸北消防署 | 0.050 | 0.060 |
| 頸南消防署 | 0.050 | 0.047 |
| 東頸消防署 | 0.047 | 0.050 |
| 高士分遣所 | 0.053 | 0.043 |
| 名立分遣所 | 0.043 | 0.047 |